

## フキアルカン情報 Web版 1月号

明けましておめでとうございます。  
平成最後の年のお正月、いかがお過ごしでした  
でしょうか？



子どもたちの笑顔に早く会いたい方、4月の就職に向けて少しドキドキの方、保育の仕事を探しておられる方、いろいろな立場の方が目を通してくださっていると思います。今年もつたない文章力ではありますがお伝えしていきますので、どうぞよろしくお付き合いくださいませ。

### 子どもが主役

おかあさん、一緒に遊んで、本読んで、ジュースが飲みたい、お母さん、お父さんお買い物行こうよ・・・ある日の〇〇家の光景です。

子どもは、一日何回こうして大人に呼びかけているでしょうか。大人は、ちゃんとその気持ちにこたえてあげているでしょうか。家事があるので十分かまってあげられないのが実情のようです。

保育園やこども園ではどうでしょうか。私が現職の時、保育は家事一切関係なく、常に一緒に遊びを楽しみ、嬉しいことや時には悔しいこと、悲しいこと、子どもたちの気持ちに寄り添って一日を過ごす、なんて素敵な嬉しい仕事なんだろうと感じたものです。

でも、正直言って最初からこの気持ちで子どもたちに寄り添っていたかというところではありません。遊びの段取りや計画が先に頭をよぎってしまい、子どもたちにとっては全然楽しくない、面白くない保育をしていたのだと思います。だから、「先生、これ終わったら遊べるね。」と言われ、保育者としては遊んでいたはずなのに、子どもたちにとっては遊びじゃなかったんだ・・・

子どもが主役の保育—これやりたい！楽しい！輝く笑顔—を念頭に！！

滋賀県保育士・保育所支援センター

作成担当： 西條久代

〒520-0044 滋賀県大津市京町四丁目 3-28 (厚生会館1階)

Tel 077-525-5203

077-526-5220 (相談専用)

Fax 077-521-2117

E-mail 保育人材バンク [otoiawase@shiga-hoikukyo.jp](mailto:otoiawase@shiga-hoikukyo.jp)

相談専用 [sodan@shiga-hoikukyo.jp](mailto:sodan@shiga-hoikukyo.jp)

